

科目名： 保育・教職実践演習 (必修 2単位)		担当教員名： 阿部真樹子		使用テキスト： なし
		担当形態： 単独		
科 目		教育実践に関する科目		
履修時期		2年次後期	受講者数	25人(2クラスで実施)
履修履歴の把握		○	学校現場の意見聴取	×
教員の連携・協力体制： 履修カルテの作成について、各教科の担当教員が把握し、指導を行う。				
授業の到達目標及びテーマ： ・到達目標：学修事項及び実習体験で得られた実践力をより確かなものにし、保育者としての、①使命感や責任感、教育的愛情と情熱、②社会性や対人関係能力、③乳幼児理解、学級経営スキル、④保育内容の指導力、以上の4項目の確認と向上を図る。 ・テ ー マ：思慮深く行動力に富む保育者を目指して、振り返りと気付きによる自己の変容を図る。				
授業の概要： グループ討論、講話、発表等、主として学生自らが主体的に学修や実習を振り返り、自らの保育者としての在り方や課題等に気付き、自己の変容を促す機会とする。また、自己の意見や経験を積極的に発信・発表することにより、保育に対する自らの考えをまとめる機会とする。				
回	項 目	内 容		
1	オリエンテーション 教育実習を振り返る	授業の目標・テーマ・概要についての説明 アンケート「保育者としての自己評価(初めの評価)」 1年次の教科についての履修カルテによる学修の振り返り。 ワールド・カフェ『教育実習での幼児についての気付き』		
2	保育者として求められる資 質と能力について	ゲストスピーカーによる講話、質疑応答・レポート提出 ゲストスピーカー：幼稚園型認定こども園教頭による講話『保育者として求められる資質と能力について』		
3	施設実習を振り返る	児童養護施設、乳児院、知的障害児等の施設での保育者の役割について各施設ごとにまとめ、発表。教育実習での学びとの違いや類似点などを探る		
4	教職の意義や教員の役割に ついて	ゲストスピーカーによる講話、質疑応答・レポート提出 ゲストスピーカー：元幼稚園園長による講話『教職の意義や教員の役割について』		
5	子どもの主体性を大切に した保育	「レジジョ・エミリア市の挑戦2001ー子どもたちの100の言葉ー」DVDを鑑賞してグループ討論を行う～「日本の幼児教育との違いについて」		
6	子どもの自主性を育む保育	モンテッソーリ教育についての学びを深め、「子どもの自主性」についてグループ討論を行う		
7	危機管理を考える (東日本大震災から学ぶ)	東日本大震災のDVD「3.11 その時、保育園は」を観て、グループ討論をし、自然災害や不審者対策等の危機管理について考える		
8	保育実践力を育む	各グループの模擬保育を動画撮影するー1グループ7名(先生役、子ども役、撮影者)で指導案を作成し、役割を決めて模擬保育を行い、動画を撮影する。		
9	保育実践力を育む	各グループの指導案を他グループに配布し、全員で撮影した動画を見て検証する。		
10	子育て支援と虐待	事例研究を通して、『子育て支援と虐待』についてグループでポスター作成を行う。		
11	保育の現代的課題 ～チーム保育について	事例研究を通して、チーム保育についてワールド・カフェを行う。		

12	保育の現代的課題 ～ドキュメンテーションについて	事例研究を通して、ドキュメンテーションについてワークを行う。
13	学修の振り返りと総括	①保育を学んで自分はどうのように変容したかについてレポート作成。②履修カルテによる振り返り。
14	学修の振り返りと総括	①保育を学んで自分はどうのように変容したかについてレポート作成。②履修カルテによる振り返り。
15	学修の振り返りと総括	①保育を学んで自分はどうのように変容したかについてレポート完成。②履修カルテによる振り返り。 アンケート「保育者としての自己評価（まとめの評価）」
	期末試験なし	
<p>参考書・参考資料等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領（文部科学省）・保育所保育指針（厚生労働省）・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省）～平成29年3月告示 ・保育・教職実践演習～実践力のある保育者を目指して（萌文書林） ・保育教職実践演習～これまでの学びと保育者への歩み（わかば社） ・モンテッソーリの子育て（クレヨンハウス） ・その他必要に応じてプリント等配布 		
<p>学生に対する評価方法：</p> <p>レポート、発表内容等を総合的に評価</p>		